

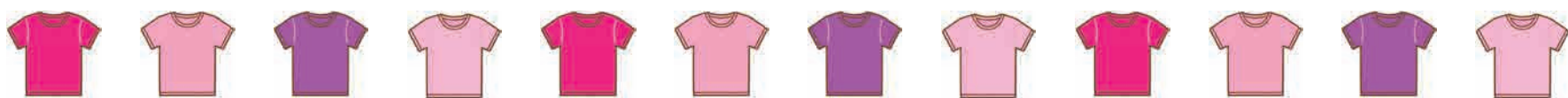
YMCA ピンクシャツデー

YMCAでは、いじめの減少、防止、啓発活動として2月28日をピンクシャツデーとしています。

奈良YMCAは今年度、**2月16日(金)～2月28日(水)**をピンクシャツデーウィークとしてYMCAピンクシャツデーの活動に取り組みました。

期間中は、スタッフ、リーダー、会員の方々がピンク色のシャツを着たり、小物を身につけてプログラムを実施しました。プログラムに参加してくれている子どもたちも、クラス内での言葉がけに変化がみられ、いじめや嫌な思いをするお友だちが減ってほしいと感じたと話してくれました。私自身もピンクシャツデーの取り組みに参画する中で、自身や他者の言葉の使い方、伝え方について、より視点がいくようになりまし。全ての人々が心地よく過ごせるように、いじめや、人と人との関わり方について、良いことは良い、悪いことは悪いとそれぞれに関心を持ち続けることが大切であると感じました。今後も「いじめをなくそう！」の理念を共有し、ひとりひとりの勇気ある行動が「よくなる」連鎖になる社会を目指します。

体育野外事業部 ありた いすみ
有田 惟純



奈良YMCAの使命

奈良YMCAにつどう私たちは、日本YMCA基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを実践し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

私たちは、

1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
4. すべての生命をいつくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上国の困難さや痛みを分かち合い、地域と公正社会の実現に努力します。
6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。

2024年度 基本聖句

「愛を身につけなさい。
愛はすべてを完成させるきずなです」
(コロサイの信徒への手紙3章14節)

冬キャンプのおもいで

2023年度は、冬志賀高原スキーキャンプ（12月25日～29日）、ハチ高原わくわくスキーキャンプ（2月23日～25日）を実施しました。日常ではなかなか体験できないスキーや雪山での生活が子どもたちの良い思い出となっていますように！活動を共にしたリーダーの感想を紹介します。



トムソーヤクラブ3回生
すえよし くにあき
くにリーダー(末吉 邦光)

この冬は小学生対象の冬志賀高原とハチ高原のスキーキャンプに参加しました。

このキャンプでは、子どもたちの成長を間近で感じることができました。

スキー指導では、1日目は基礎的な練習から始まったのですが、最初は板が履けなかったり、カニ歩きができなかったりで心が折れかける子どもたちの姿が見られましたが、2日目3日目と日が経つにつれて、諦めず自分から挑戦する子どもたちの姿が見られました。そしてワッペンテストでは練習の成果を発揮して見事にワッペンをゲットし、その達成感や嬉しさから喜び子どもたちの姿が感動的で今でも忘れられません。短期間で子どもたちの成長を感じることやみんなの絆が芽生えることがキャンプの醍醐味だと思うので絶対に今後のキャンプにも参加したいと思います！



中日本スタッフ研修

やまもと みさ
体育野外事業部 山本 光彩

1月24日（水）から25日（木）に京都で開催された中日本スタッフ研修に参加しました。9つのYMCAが参加し、災害について話し合ったり、グループセッションを行ったりしました。

災害については、「防災・環境教育—みんなでひなんカップ」という教材を用いて災害について考えました。いつ災害が起こるかわからないため、家の周りの状況、YMCAの周りの状況やハザードマップの確認、もしクラス中に災害が起こったときにどのような行動をとるべきなのか改めて考えることができた時間となりました。グループセッションでは、「みつかる—なぜ私はYMCAで働くのか」「よくなる—YMCAの現在と課題、将来と希望」「よくなっていく—YMCAだからできること」のYMCAブランドコンセプトに沿ったテーマで話し合いました。グループセッションを行い、改めてYMCAだからこそ様々なことができるのではないかと感じることができました。様々な事業を行っているYMCAが多く、各部署なかなか関わりがもてないという課題が出た一方で、各部署それぞれのアイデアを共有することでよりよいものを作り上げることができる、各YMCA



Aの取り組みを全国のYMCAに広げることで、さらによりよいものが作り上げることができるのではと考えました。スタッフ研修が終わった後も、交流会の場としてZOOMでヨガ&ストレッチを行い、つながりを感じることができています。初めての研修で不安もありましたが、2日間YMCAで働く方と意見を交換する中で様々な発見があり、YMCAについて考えを深めることのできる時間となりました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

中日本役員研修会

YMCA 西大寺南保育園 園長 せがわ みさこ 瀬川 実沙子

2024年2月17日(土)に中日本役員・評議員・常議員による研修会に参加しました。

テーマは「YMCAのガバナンス」～10年後のあるべき姿を語る～というものでした。「役員のカリスマ性」という話の中では、YMCAで働く職員の中でクリスチャンが減ってきているという点においてどのように考えていくかが課題であるという話がありました。「キリスト教条項は守るべきだ。」「YMCAの運営は一般的な事業ではなく、宣教の業としてキリスト者が担うべきだ。」「YMCAの伝統を守るべきである」等の考え方は反し、「キリスト者でなくてもYMCAのミッションを理解し、YMCAの運動を支え、推進してくれる人はいる。」「キリスト者の割合よりも実質的な働きを重視すべきだ。」「伝統も大切であるが、存続し続けるという社会的責任も重要である」との見方もありました。グループワークの中でも、個々の考えを話し合う時間をもつことが出来ました。今後、キリスト者の割合も重要であるが、その内実、なぜYMCAにとってキリスト教が必要なのかということを確認するための教育・研修・ミッションの浸透が更に重要であるということが確認されました。また、YMCAがどのような活動を行っているのか、一般の方々にもわかりやすく広報をしていく必要があるのではないかと意見も出されました。奈良YMCAでも大切にしていることを知ってもらい一緒に活動が出来ることを目指していきたいです。

国際協力募金報告

2023年度国際協力募金キャンペーンに多くの方々からご協力をいただきました。

募金総額 815,866円

この内、200,000円を能登半島地震緊急支援募金へ送金することが決まりました。

国際協力募金の趣旨や目的を理解いただき、募金を集め、募金箱にメッセージやイラストなどを描くことをすすめてくださったご家族の方々ありがとうございました。子どもたちからのメッセージに心がほっこりしました。



保育園からのおたより

ふくい かおり
YMCA なら保育園 園長 福井 香

YMCA なら保育園では3月現在 101名の園児が在籍しています。今年度はコロナ禍の行動が制限された生活が終わり、少しずつ行事も増え笑顔が見える生活になってきました。園児、職員の笑顔が溢れる生活に戻ってきた1年でもありました。なら保育園でも園内での夏祭りを新しい行事として楽しみました。なら保育園が開設されて、初めての年長児クラスお泊りキャンプも開催することができました。「運動会あそび」では親子競技も取り入れ、親子で楽しめる時間もあり、充実した行事となりました。また、先月はYMCA ピンクシャツデーの取り組みを保育園でも楽しみました。保護者の皆様にも参加していただき園全体でピンクシャツデーに参加できました。テーマ曲「ハッピーチルドレン」をモチーフに「みんなちがってみんないい」「お互いを認めあう」ことを大切に楽しんで取り組みました。

ピンクシャツデーの集いではホールに全クラスが集まり、年長児は手話を覚えて振付をして歌ったり、乳児クラスの子の手を引いて全員で大きな円になって踊ったり歌ったりして楽しみました。笑顔溢れる楽しい時間になりました。2024年度も子どもたちを真ん中に保護者、職員が協力し笑顔溢れる場所にしていきたいと思えます。また、地域との繋がりを広げポジティブネットのある豊かな社会づくりに貢献していきたいと思えます。



Amazon みんなでサンタクロースキャンペーン報告



▶▶ キャンペーン期間中に**14**品のプレゼントが届きました



- おべんとうしかけ絵本
- かみしばい すくすくのびのび
- タカラ プラレールセット
- おみせやさんカード
- ぞうくんのさんぽランプ
- はたらくのりもの図鑑 他



▶▶ 現在は...

新生活を「**みんなで応援**」キャンペーンを展開中です。

奈良 YMCA ほしいものリスト例

放課後等デイサービスや保育園で必要な、レゴ、さんすうゲームなどをリストに入れています。



amazon
QRコード



このキャンペーンは、全国のYMCAでも展開しています。

『取り組みに共感して下さった方からのプレゼントが届くたびに「みんなのことを知らない人が、みんなのことを想って届けてくれている」ということを伝え続けていました。能登半島地震の緊急募金のことを子どもたちに話した際に「知らない人のために募金しないと」という声が子どもから出ました。』という報告がありました。子どもたちにとっては、自分たちのことを思ってくれてる大人がいることを知る機会にもなっているようです。

能登半島地震支援活動報告

2024年は能登半島地震が発生するという大変心が痛むスタートになりました。被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。YMCAは、1月7日～9日に日本YMCA同盟スタッフを中心に被災地視察にスタッフを派遣しました。そして、内閣府とJVORD（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）からの要請を受けて1月8日よりスタッフを派遣し、金沢市の「いしかわ総合スポーツセンター」に設置された「1.5次避難所」の開設準備や運営アドバイス等を行っています。

全国のYMCAがリレー形式でスタッフを派遣し、避難所の環境整備、各団体の調整や運営の組織化などの役割を担っています。

内閣府の更なる要請により現在も支援を継続しております。奈良YMCAも1月22日（月）から25日（木）の期間でスタッフ1名派遣しました。一過性の支援でなく継続的な支援が大切であることを認識し、全国のYMCAと協働を進めてまいります。

総主事 うえじ のぶちか
上地 信親

奈良YMCAに寄せられた募金額（3月25日現在） **240,993円**

維持会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2024年1月～3月現在・敬称略

【賛助会員】
金 智重

4月になりましたら、2024年度会費のお願いを郵送します。
引き続き、ご支援よろしくお願いたします。

奈良YMCAの活動情報など是非ご覧ください！



奈良YMCA
ホームページ



各プログラム
Facebook一覧



アカウント
nara.ymca